

平成30年（2018）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、74万7,500人
対前年（H29）同月比 +2万9,000人、+4.0%
～12月の過去最高を更新～

入域状況

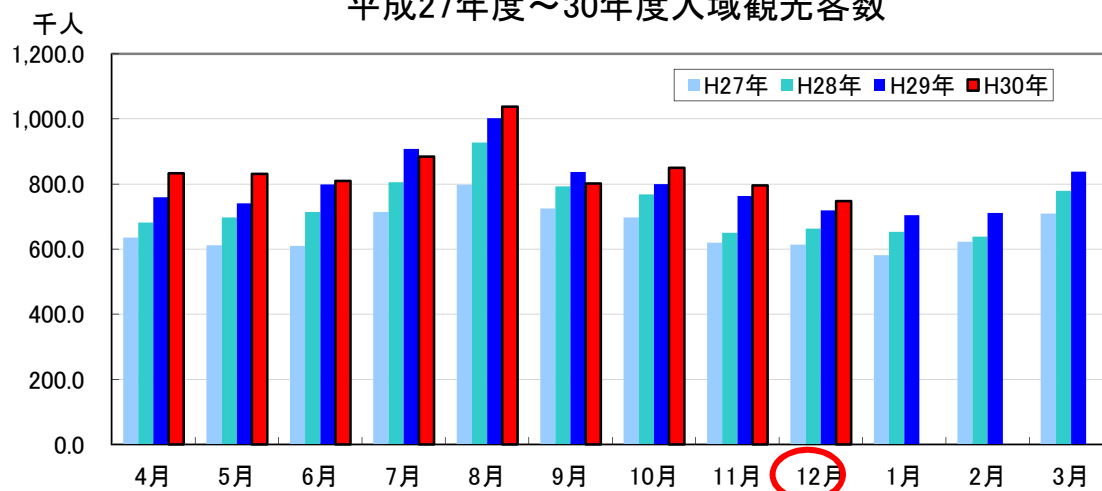
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	76.3%
外国客	177,200 人	183,100 人	△ 5,900人	△ 3.2%	23.7%
合計	747,500 人	718,500 人	+ 29,000人	+ 4.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	77.5%
外国客	165,300 人	162,700 人	+ 2,600人	+ 1.6%	22.5%
合計	735,600 人	698,100 人	+ 37,500人	+ 5.4%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好なことや、各旅行会社による旅行商品販売の取組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要の高まりや、前年同月より航空路線の拡充があったものの、クルーズ船の寄港が減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クルーズ船の寄港回数が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	281,700 人	261,700 人	+ 20,000人	+ 7.6%	49.4%
関西方面	112,700 人	105,700 人	+ 7,000人	+ 6.6%	19.8%
福岡方面	73,100 人	70,200 人	+ 2,900人	+ 4.1%	12.8%
名古屋	45,900 人	43,200 人	+ 2,700人	+ 6.3%	8.0%
その他	56,900 人	54,600 人	+ 2,300人	+ 4.2%	10.0%
合計	570,300 人	535,400 人	+ 34,900人	+ 6.5%	100.0%

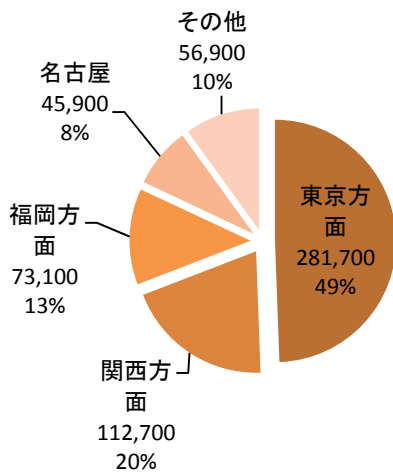
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島1,600人、横浜1,600人)

外国客 国籍別入域状況

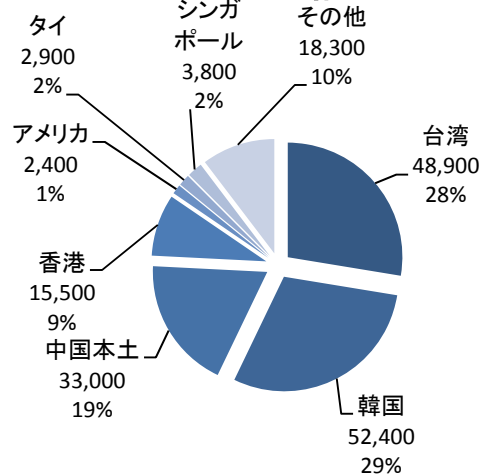
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	48,900 人	48,900 人	42,500 人	+ 6,400人	+15.1%	27.6%
韓国	52,400 人	52,400 人	49,800 人	+ 2,600人	+5.2%	29.6%
中国本土	33,000 人	33,000 人	36,600 人	△ 3,600人	△9.8%	18.6%
香港	15,500 人	15,500 人	18,700 人	△ 3,200人	△17.1%	8.7%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	2,100 人	+ 300人	+14.3%	1.4%
タイ	2,900 人	2,900 人	3,000 人	△ 100人	△3.3%	1.6%
シンガポール	3,800 人	3,800 人	4,000 人	△ 200人	△5.0%	2.1%
その他	18,300 人	6,400 人	26,400 人	△ 8,100人	△30.7%	10.3%
合計	177,200 人	165,300 人	183,100 人	△ 5,900人	△3.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	43,700 人	43,700 人	+27.0%	30.9%	5,200 人	5,200 人	△35.8%	14.4%
韓国	52,400 人	52,400 人	+5.2%	37.1%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	16,500 人	16,500 人	+5.1%	11.7%	16,500 人	16,500 人	△21.1%	45.8%
香港	14,800 人	14,800 人	+5.7%	10.5%	700 人	700 人	△85.1%	1.9%
アメリカ	1,900 人	1,900 人	△5.0%	1.3%	500 人	500 人	+400.0%	1.4%
タイ	2,900 人	2,900 人	△3.3%	2.1%	0 人	0 人	-	0.0%
シンガポール	3,800 人	3,800 人	△5.0%	2.7%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	5,200 人	5,200 人	+0.0%	3.7%	13,100 人	1,200 人	△38.2%	36.4%
合計	141,200 人	141,200 人	+10.2%	100.0%	36,000 人	24,100 人	△34.5%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、航空会社の提供座席数の増加や、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していること等から、好調に推移する見込み。

大阪

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が良好だったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージの販売が安定していることや、一般団体旅行の受注が良好であること等から、好調に推移する見込み。

福岡

12月は、航空会社の提供座席数の増加や、一般団体旅行や年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から、前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、個人旅行商品やグループ旅行の先行販売が良好であること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

12月は、航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったことや、年末年始の旅行需要の高まりがあったこと等から前年を上回った。

1月は、引き続き航空会社の先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であることや、旅行商品の沖縄キャンペーンの取組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

台湾

12月は、クルーズ船の寄港が減少したものの、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。

1月は、クルーズ船の寄港が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等により、堅調に推移する見込み。

韓国

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったことや、前年同月より航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、ピーク時を避けたインセンティブ旅行の需要の高まりが期待されることや、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土

12月は、年末年始の旅行需要の高まりがあったものの、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が減少したこと等から、前年を下回った。

1月は、航空路線は前年並みに予定されていることや、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、好調に推移する見込み。

香港

12月は、クリスマス休暇や年末年始の旅行需要の高まりがあったものの、前年同月よりクルーズ船の寄港が減少したこと等から前年を下回った。

1月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていることや、クルーズ船の寄港が増加する予定であること等から、堅調に推移する見込み。